

## 筑波大学の建学の理念

筑波大学は、基礎及び応用諸科学について、国内外の教育・研究機関及び社会との自由、かつ、緊密なる交流関係を深め、学際的な協力の実をあげながら、教育・研究を行い、もって創造的な知性と豊かな人間性を備えた人材を育成するとともに、学術文化の進展に寄与することを目的とする。

従来の大学は、ややもすれば狭い専門領域に閉じこもり、教育・研究の両面にわたって停滞し、固定化を招き、現実の社会からも遊離しがちであった。

本学は、この点を反省し、あらゆる意味において、国内的にも国際的にも開かれた大学であることをその基本的性格とする。

そのために本学は、変動する現代社会に不断に対応しつつ、国際性豊かにして、かつ、多様性と柔軟性を持った新しい教育・研究の機能及び運営の組織を開発する。更に、これらの諸活動を実施する責任ある管理体制を確立する。

### 教育倫理

#### ◆ 教育倫理綱領

筑波大学は、あらゆる面で「開かれた大学」となることを目指し、固定観念に捉われない「柔軟な教育研究組織」と次代の求める「新しい大学の仕組み」を率先して実現することを基本理念とし我が国における大学改革を先導する役割を担っている。人類社会の調和のとれた発展を担う知の拠点として、大学にさらに大きな役割が求められるなか、筑波大学は、知の全ての分野において幅広い教育研究活動を展開することが可能な総合大学として、個性と自立を基軸とし、世界が直面する問題の解決に主体的に貢献する人材の創出を教育の基本的な目標に掲げ、その実現のための具体的な指針として筑波スタンダードを定めている。

### 第2期中期目標・中期計画

#### ◆ 基本的な目標等

本学は、高度で先進的な研究に裏打ちされた学士課程から博士課程までの教育を通じて学生の個性と能力を開花させ、豊かな人間性と創造的な知力を蓄え、自立して国際的に活躍できる人材を育成する。

### 年度計画

### 教育改革の方向性

#### ◆ 教育改革の方向性

今こそ大学は、未来知の拠点として、山積する地球規模課題を解決し社会発展の原動力としての機能と責任を果たさなければならない。筑波大学は、新たなスローガン IMAGINE THE FUTURE. の下で、学生の視点、国際社会の視点、そして未来の視点に立って国際的に通用する人材の育成をめざしつつ教育の実質化と学位の質保証に向けた先導的な教育改革を進めている。

それは筑波スタンダードの具現化であり、最も重要な課題は、(※) 学位プログラムに基づく教学システムの開発である。

従来の学群・研究科といった組織中心の考え方を脱却し、学生の視点に立った学位中心の考え方に移行するために、各組織が授与する学位ごとに学位授与方針（ディプロマ（ディグリー）ポリシー）、教育課程編成方針（カリキュラムポリシー）、入学者受入れ方針（アドミッションポリシー）の3方針を明確化し、社会に公表するとともに学際的・横断的な融合・連携教育型の世界リーディング大学を樹立することである。こうしたグローバル人材育成のための学位プログラム化を通して、教育の革新と大学の内部質保証を確保し、大学としての社会的使命をしっかりと果たしていきたいと考えている。

※学生による学修の成果を重視する観点から、学生が学士・修士・博士・専門職学位といった学位を取得するに当たり、当該学位のレベルと学問分野に応じて達成すべき能力を明示し、その能力を学生が修得できるように体系的に設計された教育プログラムのこと。（中央教育審議会大学分科会）

### 筑波スタンダード

#### ◆ 学士課程

筑波スタンダード  
教養教育スタンダード

#### ◆ 大学院課程

大学院スタンダード

### 教育組織編成等の方針

教育組織編成に関わる  
大学の基本方針等

### 推進する教育の取組み施策等

筑波大学の学士課程教育の  
構築に向けたフレームワーク

筑波大学の大学院課程教育の  
実質化に向けたフレームワーク

# 筑波大学の学士課程教育の構築に向けたフレームワーク2012

－ 社会の信頼に応える学士課程教育等を実現するために －

社会的要請

対応のフレーム

具体的な取組施策「タスク」

推進・支援体制

## 【学生受入・学生の流動化】

- 入学者受入れ方針の明確化への要請
  - ◆大学と受験生のマッチング
  - ◆学ぼうという意欲や能力ある多様な学生の受入
- 学ぶ意欲と力を測る創意工夫ある入試
  - ◆意欲・能力・適性等の多面的・総合的評価
- 多様な学生（学生の多様性）の受入
  - ◆社会人 ◆海外からの留学生
  - ◆帰国生徒 ◆障害のある学生
  - ◆編入学 ◆その他の多様な学生

## 【教育の体系化・学位授与の方針の明確化等】

- 職業人としての基礎能力の育成、創造的な人材の育成
  - 理論に加えて、実社会とのつながりを意識した教育
- 学位の水準の維持・向上（国際的通用性、質の高い学士課程教育）
  - ◆学位を与える課程（プログラム）中心の考え方に再整理
  - ◆単位制度の実質化の徹底
  - ◆きめ細かな指導と厳格な成績評価（到達目標を開示）
- 教養教育の充実（社会人基礎力としてのコミュニケーション力、グローバル化社会への対応力）
- 教育の質的な転換・革新

## 【卒業・進路指導等】

- 人生の新しい段階へ挑戦
- 到達すべき学習成果は、あらゆる教育活動の中で培う

## 【修学指導・生活支援等】

- 生活・学習環境の充実
- 留学生と日本人学生の交流
- 学生の意見反映
- 経済的な支援の強化
- 多様な学生への特別な支援の強化
  - ◆留学生 ◆障害のある学生 ◆社会人等

## ○筑波スタンダード、教養教育スタンダード ○学位プログラムを中心とした新しいシステム

### ■学生受入

- 意欲と能力ある学生の受入に資する取組
- 優秀な留学生の受入に資する取組
- 多様性のある学生の受入に資する取組

### ■教育プロセス・学位授与方針

- 順次性のある体系的な教育課程の編成に資する取組
- 単位制度の実質化に資する取組 ○成績評価の厳格化に資する取組
- 学士レベルの資質能力を備えた人材養成に資する取組
- 学位の質の保証に資する取組 ○国際性（グローバル化）に資する取組
- 教養教育、社会人基礎力の涵養に資する取組

### ■卒業後の進路指導支援

- キャリア形成支援に資する取組
- 就職支援に資する取組

### ■学生に対する修学指導・生活指導・支援等

- 学生の修学上の支援に資する取組
- 学生の経済支援に資する取組
- 学生の生活上の支援に資する取組

## アドミッションポリシー

### ○学生受入

- ◆アドミッションポリシーの明確化
- ◆厳格な入学者選抜の実施
- ◆多様な学生（学生の多様性）の受入の促進
  - ・社会人 ・海外からの留学生 ・帰国生徒
  - ・障害のある学生 ・編入学
  - ・その他の多様な学生

### ○留学生受入

- ◆国費及び外部機関等からの支援を活用した留学生の積極的な受入
- ◆本学独自の留学生受入制度の推進（授業料免除制度の活用）
- ◆グローバル30英語プログラムを推進

## カリキュラムポリシー

### ○教育研究の質の維持・向上

- ◆教育課程の体系化・構造化
- ◆教養教育の重視
- ◆シラバスの充実
- ◆多様な教育方法の実施
- ◆厳格な成績評価の実施（GPAを含む。）
- ◆セメスター制対応
- ◆TA・TFの活用

### ○コミュニケーション能力等育成

- ICT・CALLシステム等の充実
- 対話の場の形成

### 教養教育機構

- 海外留学促進：◆海外大学との連携協力、単位互換制度の整備 他

## ディプロマポリシー

### ○学位の質の保証（水準の確保）

- ◆学位審査等のプロセスの明確化
- ◆学生の総合到達度の把握
- ◆早期卒業の実施等

### ○厳正な学位審査体制の確立

## ○キャリア形成・就職支援等

- ◆キャリア形成支援
  - ①つくばキャリアポートフォリオ
  - ②自己成長診断システム
  - ③キャリアインタビューⅡ
  - ④キャリア相談
  - ⑤質の高い教員の養成等
- ◆就職支援
  - ①講座、ガイダンス等
  - ②OB・OG懇談会
  - ③企業面接会
  - ④キャリアインタビューⅠ
  - ⑤就職相談
  - ⑥インターンシップ等

### キャリア支援室

## ○学生への経済支援

- ◆学生納付金等の免除・減額制度の充実
- ◆独自の奨学金制度の整備と充実
- ◆奨学金制度の充実
- ◆キャンパス交通システム利用の推奨

## ○学生生活上の支援

- ◆魅力ある学生宿舎の環境整備、入居を促進
- ◆留学生への生活上の支援制度の充実
- ◆留学生の日本語・日本文化理解

## ○その他の学生支援

- ◆留学相談体制の充実
- ◆ハラスメント相談体制の充実
- ◆メンタルヘルス相談体制の充実
- ◆研修施設の充実
- ◆国際化に対応した支援体制の充実

### 学生生活支援室

## アドミッションセンター

- チューター制度の充実：◆留学生チューター（教育、生活）、◆教育・学生生活 他

### ○キャリア教育等の推進

- ◆キャリア教育（専門教育や共通教育と融合した全学生への教養教育）、◆大学業務等への参画、◆インターンシップの充実 他

- ライティング等のシステム（能動的学修のシステムを含む。）を整備：◆図書館の学習機能の充実（ラーニング・commonsにおける学習支援サービスの拡充）、◆遠隔教育システム等の充実、◆教育クラウド室（eラーニング等の推進）

- 学生相談体制の確立：◆入試担当、◆留学生担当、◆教育・学生指導担当、◆キャリア支援担当、◆留学相談担当 他

- 筑波大学グローバル教育院（◆グローバル人材育成を推進、◆分野横断型学位プログラムの推進）

- 教育イニシアティブ機構（総合知教育基盤の検討、学位プログラム化を推進）◆教育企画室（教育の質の保証）

- 筑波大学ファカルティ・ディベロップメント委員会 ○教育 PDCA サイクル委員会（PDCA サイクル稼働）

- 情報の公開（学位取得プロセス、経済的支援、キャリアパスの見通し、社会貢献（教育・研究成果の社会への還元）等）

# 筑波大学の大学院課程教育の実質化に向けたフレームワーク2012

－多様な分野で大学院修了者が国際的に活躍するために－

社会的要請

対応のフレーム

具体的な取組施策「タスク」

推進・支援体制

## 【学生受入・学生の流動化】

- 入学者受入れ方針の明確化への要請
- 入学試験の多様化
- 学内進学の奨励
- 入試段階から専門分野ごとの細分化が課題
- 女性研究者の育成
- 多様な学生（学生の多様性）を受入
  - ◆他大学出身者 ◆社会人 ◆留学生 等

## 【教育研究の体系化・学位授与に至るプロセスの明確化等】

- 多様な学生に対応できる体系的な教育（コースワークの充実）
- 学位を与える課程（プログラム）中心の考え方に再整理
- 学生の能力や環境に応じた教育システムの整備
- きめ細かい研究指導（複数指導体制、研究会の充実）
- 個々の研究室の中での論文指導偏重の改善
- 社会的要請に応える教育（視野の広い人材を養成）
- 大学院教育の国際化 ○コミュニケーション力
- 教育研究の質の向上の必要性

## 【修了・進路指導等】

- 博士前期（修士・専門職）課程
  - 博士後期課程への進学
  - 就職支援
- 博士後期（医学を含む。）課程
  - 就職支援
  - ポスドク等が活躍できる場の提供

## 【学生生活支援等】

- 生活・学習環境の充実
- 留学生と日本人学生の交流強化 / 充実
- 学生の意見反映
- 経済的な支援の強化
- 多様な学生への特別な支援の強化
  - ◆留学生 ◆障害のある学生 ◆社会人 等

## ○大学院スタンダード ○学位プログラムを中心とした新しいシステム

### ■学生の受入

- 意欲と能力ある大学院学生の受入に資する取組
- 優秀な留学生の受入に資する取組
- 優秀な社会人学生の受入に資する取組

### ■教育研究のプロセス・学位授与方針

- 教育研究の質の向上に資する取組
- 国際性、国際交渉力や人間力等の総合力の向上に資する取組
- 学位の質の保証に資する取組

### ■修了後の進路

- キャリア形成支援に資する取組
- 就職支援に資する取組

### ■学生指導・生活指導・支援等

- 学生の修学上の支援に資する取組
- 学生の経済支援に資する取組
- 学生の生活上の支援に資する取組

## アドミッションポリシー

### ○大学院学生の受入

- ◆大学院学生募集要項の Web 化、英文化
- ◆学士課程・前期課程からの学内進学の推進
- ◆アドミッションポリシーの明確化
- ◆厳正な入学者選抜の実施
- ◆専門の枠を超え基礎を問う入試の実施

### ○留学生の受入

- ◆国費及び外部機関等からの支援を活用した留学生の積極的な受入
- ◆本学独自の留学生受入制度の推進（授業料免除制度の活用）
- ◆グローバル30英語プログラムを推進
- ◆外国人留学生の渡日前入試、入学前教育を推進

### ○社会人学生の受入

- ◆「社会人のための早期修了プログラム」の発展
- ◆社会人大学院（東京キャンパス）の充実
- ◆つくばキャンパスにおける社会人受入の整備

## カリキュラムポリシー

### ○教育研究の質の維持・向上

- ◆教育課程の体系化・構造化
- ◆学会等参加、学術論文投稿等奨励
- ◆ICT・CALL システム等の充実
- ◆対話の場の形成
- ◆広範なコースワークの整備
- ◆様々な研究機会の提供
- ◆TA・TF の活用
- ◆国際性、国際交渉力の向上（海外留学を含む）

- ◆達成度評価システムの確立・推進
- ◆優秀学生に対する研究の奨励
- ◆産・独・学連携の推進

### ○グラデュエイト・キャリア・プラン

- ◆学群・大学院相互履修 ◆デュアルディグリープログラム ◆大学院共通科目（人間力の醸成）

- 海外留学促進：◆海外大学との連携協力、単位互換制度の整備 他

## ディグリーポリシー

### ○学位の質の保証

- ◆研究指導、学位審査等のプロセスの明確化
- ◆複数指導体制の研究指導の実施
- ◆研究室ローテーションの実施（博士後期課程）
- ◆外部委員を含めた学位論文審査の充実
- ◆学位審査基準、体制の明確化
- ◆学位論文の公刊

## ○キャリア形成・就職支援等

- ◆キャリア形成支援
  - ①自己成長診断システム
  - ②逆求人セミナー（企業人に研究成果をプレゼンテーションするもの）の実施
  - ③キャリアフォーラム（キャリアパスの確立に向けた社会人との対話の場）の実施
  - ④キャリア相談
  - ⑤質の高い教員の養成 等
- ◆就職支援
  - ①講座、ガイダンス 等
  - ②OB・OG 懇談会
  - ③企業面接会
  - ④キャリアインタビュー I
  - ⑤就職相談
  - ⑥インターンシップ 等

## ○学生への経済支援

- ◆学生納付金等の免除・減額制度の充実
- ◆独自の奨学金制度の整備と充実
- ◆奨学金制度の充実
- ◆キャンパス交通システム利用の推奨

## ○学生生活上の支援

- ◆魅力ある学生宿舎の環境整備、入居を促進
- ◆留学生への生活上の支援制度の充実
- ◆留学生の日本語・日本文化理解
- ◆留学生と日本人学生の対話の場

## ○その他の学生支援

- ◆留学相談体制の充実
- ◆ハラスメント相談体制の充実
- ◆メンタルヘルス相談体制の充実
- ◆研修施設の充実
- ◆国際化に対応した支援体制の充実

## キャリア支援室

## 学生生活支援室

- チューター制度の充実：◆留学生チューター（教育、生活）、◆教育・学生生活 他

### ○キャリア教育等の推進

- ◆キャリア教育（専門教育と融合した全学生へのキャリア支援）、◆TA・RA 等制度の拡充（PFF、PFP プログラム等の推進 他）、◆TF 取得者の任用促進、◆大学業務等への参画、◆インターンシップの充実 他

- ライティング等のシステム（能動的学修を含む。）の整備：◆図書館の学習機能の充実（ラーニング・commons における学習支援サービスの拡充）、◆遠隔教育システム等の充実、◆教育クラウド室（e ラーニング等の推進）

- 学生相談体制の確立：◆入試担当、◆留学生担当、◆教育・学生指導担当、◆キャリア支援担当、◆留学相談担当 他

- 筑波大学グローバル教育院（◆グローバル人材育成を推進、◆分野横断型学位プログラムの推進）

- 教育イニシアティブ機構（総合知教育基盤の検討、学位プログラム化を推進）◆教育企画室（教育の質の保証）

- 筑波大学ファカルティ・ディベロップメント委員会 ○教育 PDCA サイクル委員会（PDCA サイクル稼働）

- 情報の公開（学位取得プロセス、経済的支援、キャリアパスの見通し、社会貢献（教育・研究成果の社会への還元） 等）

# 教育の理念・目標の明確化と公表

## 筑波スタンダード

### 学士課程

#### 筑波スタンダード

##### 1. 学士課程教育の理念・目標

###### (1) 教育目標 (育成する人材像)

- ① 本質を究める確かな基礎力と柔軟な思考力に裏打ちされた創造性を養う
- ② 国際的な活躍の礎となる豊かな教養とコミュニケーション力を育む
- ③ 芸術やスポーツに親しみ、優れた文化的営みに感動する力を養う
- ④ 自然と人間を慈しみ、積極的に社会に貢献する態度を育む
- ⑤ 生涯を通して学び、自律的に自己を成長させ続ける力を養う

###### (2) 教育目標の達成に向けた方針

- 方針 1) 専門性と学際性の調和を重視した自由度の大きい教育システムときめ細かな指導体制の整備
- 方針 2) 明確な教育目標の設定と、学生の主体的学習を促すカリキュラムの編成
- 方針 3) 教育の質の持続的向上を目指す「筑波大学ファカルティ・ディベロップメント」の推進

#### 教養教育スタンダード

##### 2. 教養教育の目標

- 目標 1) 基盤教育  
— 専門教育を支える幅広い基礎の構築 —
- 目標 2) アカデミック・リテラシー  
— 専門人・社会人としての高度なコミュニケーション能力の育成 —
- 目標 3) ヒューマニティ  
— 専門に偏ることのない豊かな人間性と高い倫理の涵養 —
- 目標 4) キャリア  
— 社会に応える目的意識の形成 —

### 大学院課程

#### 大学院スタンダード

##### 3. 大学院課程教育の理念・目標

###### (1) 教育目標 (育成する人材像)

- ① 鋭敏な国際感覚を基盤としグローバルにリーダーシップを発揮し得る人材
- ② 豊かな教養と倫理観を併せ持ち人類社会の未来に資する知を創成できる人材
- ③ 論理的な思考力と先進的な創造力を兼ね備え成熟した知情意に基づいて専門的職能を切り拓く人材

###### (2) 教育目標の達成に向けた方針

- 方針 1) グローバル化した社会において国際的なリーダーとなる人材の育成
- 方針 2) 明確な教育目標と質の高い学位プログラムの編成
- 方針 3) PFP (Preparing Future Professors / Professionals) プラットフォームによるプロフェッショナル・ディベロップメント
- 方針 4) 達成度評価システムと筑波大学 FD による大学院教育の質の保証

